

総合製品情報概要

処方箋医薬品^{注)}

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

リゾビスト[®]注

MRI用肝臓造影剤
(フェルカルボトラン注射液)

Resovist[®] Inj.

〈薬価基準収載〉

【禁忌】(次の患者には投与しないこと)

- (1) 本剤の成分又は鉄注射剤に対し過敏症の既往歴のある患者
- (2) 一般状態の極度に悪い患者
- (3) ヘモクロマトーシス等鉄過剰症の患者
[本剤の鉄により症状が悪化するおそれがある]
- (4) 出血している患者[出血症状を悪化させるおそれがある]

「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌」を含む「使用上の注意」の詳細につきましては、7～14頁をご参照ください。
「禁忌」を含む「使用上の注意」の改訂に十分ご留意ください。

販売元
PDRファーマ株式会社

製造販売元
ネオクリティケア製薬株式会社

リゾビスト®注の取り扱い方法

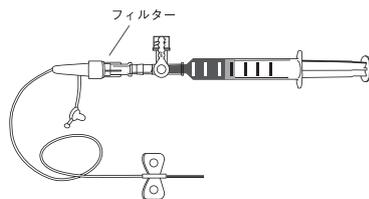
1 薬液の吸引

バイアルからプラスチックキャップを外し、本剤の必要量をディスプレイシリンジに吸引する。



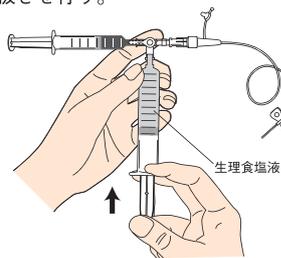
2 注射筒のエア抜き

- (1) 本剤を吸引したディスプレイシリンジに3方活栓を装着する。
- (2) 添付のフィルター(孔径5 μ m)を取り出し3方活栓に確実に装着する。
- (3) 翼状針を装着し、3方活栓内のエア抜きを行う。



3 チューブ内のエア抜き

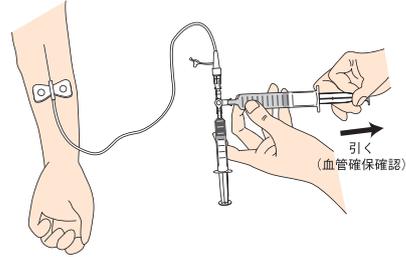
別のディスプレイシリンジに生理食塩液を吸引し、シリンジ内のエアを抜いた後、本剤を装着した3方活栓に装着し、翼状針及びチューブのエア抜きを行う。



※本剤による衣服などの汚れに注意すること

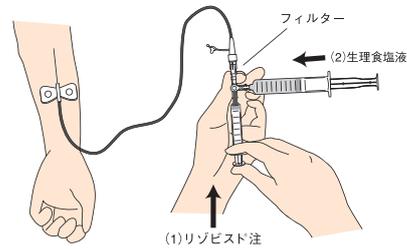
4 注射針穿刺(血管確保)の確認

患者の静脈に針を穿刺し、生理食塩液シリンジのプランジャーを少し引いて、血液の逆流により注射針が血管内に正しく留置されていることを確認する。



5 薬液の投与

- (1) 本剤をフィルターを介して投与する。
- (2) 適量の生理食塩液でチューブ内に残存する本剤を押し出すことにより、本剤の投与を完了する。



<参考>

■ リゾビスト®注 用量 換算表

体重(kg)	30~34	35~40	41~46	47~53	54~59	60~65	66~71	72~78	79~84	≥85
必要量	0.5mL	0.6mL	0.7mL	0.8mL	0.9mL	1.0mL	1.1mL	1.2mL	1.3mL	1.4mL